



## 進め！限界のその先へ

8/19 ビホロデュアスロン大会「ジュニアの部」からランニングと自転車の総合タイムを競う「第32回ビホロ100kmデュアスロン大会」が開催されました。ジュニアの部も開催され、全力で走り、必死にペダルをこぐ選手たちに多くの声援が送られました。

びほろ町

ざかい

### 9月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など ..... 2P

### こんなことを聞きました

一般質問 8人登壇 ..... 4P

### 皆さんの声をお聞かせください

11月6日(火) 午後1時30分/午後6時  
町民会館小ホール

『議会報告会・意見交換会』を開催します

.....14P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No. 230 平成30年11月1日



# 9月定例会

胆振東部地震停電経費・峠の湯源泉改修工事補正予算などを審議

## 9月定例会の概要

### 9月定例会のあらまし

**【25日】** 会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名（戸澤・中嶋・坂田・上杉）が一般質問に登壇。基金運用の考え方、小児がんの早期発見、美幌ふるさと祭り、観光振興対策等について活発な議論が交わされました。

**【26日】** 議員4名（稲垣・吉住・大江・岡本）が一般質問に登壇。中心市街地活性化、災害対策、まちなか美化、イベント用備品整備等について活発な議論が交わされました。その後、議案審議に入り、教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦、条例改正を審議し原案どおり可決しました。

**【27日】** 前日に引き続き議案審議を行い、補正予算案（一般会計・介護保険特別会計・病院事業会計）3件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。次いで、平成29年度各会計決算認定は決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続調査としました。その後、1件の意見書案を可決し、5件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出、議員の派遣を承認し、全日程を終了し閉会しました。

### 町長の行政報告(要旨)

#### ◆北海道胆振東部地震による美幌町内全域停電について

9月6日胆振地方東部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生し、道内で41名の方が犠牲となりました。地震の影響により道内最大の苫東厚真火力発電所が緊急停止し、他の発電所も連鎖的にすべて自動停止したため、北海道全域の295万戸が停電となりました。

本町では、災害対策本部を設置、携帯電話充電用コンセントの準備、臨時避難所を開設しました。停電による影響は、生乳廃棄処分などの農業被害、国保病院の一般外来の受け入れ休止、小中学校の臨時休校、公共施設の一部閉館となりました。

9月7日、午後9時15分に町内全域の停電復旧を確認しました。この度の一斉停電は初めての事態でしたが、大きな混乱もなく対応できたことは、町民皆さまが防災意識を高めてきた結果と受け止めています。

引き続き、防災意識の高揚と災害に強いまちづくりに万全を期してまいります。



# 補正予算

9月定例会・平成30年度補正予算は、全て原案どおり可決しました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

## ◇ 災害対策事業費 136万円

北海道胆振東部地震による町内全域停電にかかる発電機設置等の費用。



～ 役場に設置された発電機 ～

## ◇ 交流促進センター源泉改修 1,035万円

「峠の湯びほろ」源泉漏水対策のための改修工事および工事期間中の休業補填費用。



～ 峠の湯びほろ ～

## ◇ 記念碑撤去費用 85万円

老朽化した上美幌土功組合更生記念碑・民有林人工造林一万ヘクタール達成記念碑の撤去費用。



～ 上美幌土功組合更生記念碑（柏ヶ丘公園）～

## ◇ 難聴児童補聴援助システム購入 25万円

美幌小学校難聴児童補聴援助システム購入費用。



～ 難聴児童補聴援助システム ～

## ◇ 全国消防操法大会参加等 507万円

美幌消防団が全国消防操法大会(10/19・富山県)に参加するための広域事務組合負担金等。



～ 全道大会（7/20・江別市）の様子～

## ◇ 体外衝撃波結石破碎装置導入 337万円

国保病院へ導入される医療機器借上料6か月分の費用。



～ 体外衝撃波結石破碎装置～

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

こんなことを決めました

# 1件の意見書案を可決し関係機関へ提出

平成30年9月定例会では、3件の意見書の提出を求める要請・陳情のうち、1件の意見書案を可決し、国の関係機関へ提出しました。ここでは主な内容について、お知らせします。

## <林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書>

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や平成31年度に創設される森林環境譲与税（仮称）を活用した地域の特性に応じた森林の整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要であることから、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 2 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業者や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。



### 一般質問

8人が登壇

質問者と質問項目

- 戸澤 義典議員・・・5頁
  - ①基金運用の考え方について
  - ②外国資本の土地買収問題
- 中嶋 すみ江議員・・・6頁
  - ①小児がんの早期発見
  - ②ICT活用による学習機会の充実
- 坂田 美栄子議員・・・7頁
  - ①ふるさと祭り出店増加対策
  - ②学習支援について
- 上杉 晃央議員・・・8頁
  - ①ホテル誘致の取り組み
  - ②LCC就航誘致について
- 稲垣 淳一議員・・・9頁
  - ①防災体制の充実・強化策
  - ②中心市街地活性化について

### 一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中において最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

- 吉住 博幸議員・・・10頁
  - ①災害対策について
- 大江 道男議員・・・11頁
  - ①まちなか美化について
  - ②「峠の湯」ドッグラン整備
  - ③美幌高校支援拡大について
- 岡本 美代子議員・・・12頁
  - ①胆振東部地震による停電
  - ②イベント用備品について
  - ③集会室の備品について
  - ④小中学生の重いかばん対策

# 健全財政 問 基金積立の適正額及び運用は

戸澤 義典 議員

## 答 財政運営計画に基づく積立を行っている



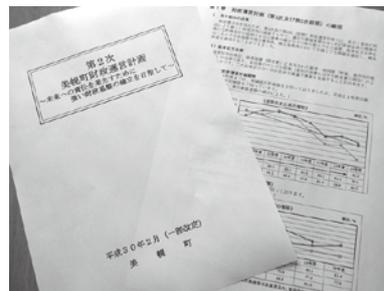
政運営計画に基づいた積立を行っている。

基金とは…  
財政運営を計画的に行うため、あるいは特定の目的のために資金を積み立てるもので、家計における預貯金に相当するものです。  
積み立てられた資金やその運用利子は、様々な事業の財源として活用しており、現在、財政調整基金、福祉基金、ふるさとづくり基金など17種類の基金を管理しています。

問 美幌町では、多種多様な目的のため基金を設置しているが、基金積立の適正額および運用の考え方について伺いたい。  
答 役場庁舎改築基金や屋内多目的運動場整備基金は、施設整備の総事業費を算出し、補助金及び地方債（借金）を除いた額を基金積立の目標としている。  
また、他の基金についても、美幌町財

問 町の健全な財政運営のために設置され、ある程度自由に使うことができる財政調整基金の積立適正額は。  
答 地方財政法では、適正額は明確にされていないが、美幌町では財源不足、災害経費の補填等に対応するため、標準財政

規模の15%を目標に積立を行っており、10億円が概ね適正な積立額と考えている。今後とも次の世代へ過度な負担を残さぬよう着実な財政運営を進めていきたい。



問 財政運営計画の中で、平成37年度までに、図書館の改築が予定されている。意思表示しているのであれば、図書館改

築のため早めに積立していくべきでは。

答 今ただちに基金を設置する考えはないが、毎年の予算・決算を見ながら財政運営を行いたい。

### 外国資本の土地買収

町長の考えは

問 外国資本による土地買収が問題化されている。森林や水源地の買収など問題意識は持ちつつも、国からは具体的な対策が出されていない。美幌町の状況は。

答 本町の水源地については、国有林及び美幌町が所有する森林であり、水源涵養保安林に指定されていることから、行政の関与がないまま売買されることはないと考えている。

また森林を含む土地売買については、事後報告・届出が必要となっており、売買を制限するまでには至っていない。外国資本による土地等売買問題は発生していないと認識している。

問 今後の対応について、町長の考えを伺いたい。

答 今後、起こりえる問題であると捉える必要に応じて、国道へ更なる法整備について働きかけを行いたい。



乳幼児健診

問 小児がん早期発見のための取り組みは

中嶋  
すみ江議員

答 定期的な乳幼児健診を継続する



学の進歩で治癒率が向上している。

問 小児の死亡原因の第一位は小児がんで、患者と家族は、発育や教育の対応など成人のがん患者とは異なる課題を抱えている。

美幌町では、疾病の早期発見・治療を目的に4か月、10か月、1歳6か月、3歳児健診を実施し、乳幼児相談、育児相談を随時行っている。

今後、地域医療機関と連携を図りながら早期発見・治療に努めていきたい。

問 美幌町では小児がん早期発見のためにどのような取り組みを行っているのか。

答 主な小児がんは、白血病、脳腫瘍、リンパ腫などで、発見が難しく増殖も速いが、ここ数十年の医学の進歩で治癒率が向上している。

見を目的に、保護者が子どもの眼の状態を確認する項目が記載され、医師の診察においても眼疾患を含め健康状態の確認を行っている。



学習機会の充実

eラーニング活用

問 道教育委員会では、千歳科学技術大学が開発したeラーニング（習熟の程度に応じて数学や英語

の問題に取り組むインターネットを利用した学習）の活用を進めているが、美幌町の導入状況は。

答 eラーニングは、道教育委員会に利用申請を行い、費用の負担なく利用できるが、町内の学校を含め管内での導入実績はない。道内の取り組み状況や学校の意見を聞きながら、活用事例や方法を参考としていきたい。

公営住宅入居

保証人の取り扱い

問 近年身寄りのない高齢者等が増加し、公営住宅への入居に際して保証人、連帯保証人の確保が困難になることが懸念されている。今後、連帯保証人の取扱い

についてどのように取り組むのか。

答 連帯保証人は、入居者の債務保証のほか、緊急連絡先確保など、孤独化・孤立化を防ぐ一面も担っており、美幌町では、2人の連帯保証人を求めている。

今後、北海道、他自治体の取扱いを調査・研究した上で、住宅に困窮する低額所得者への住宅提供という公営住宅の目的に沿って、入居に支障が生じないよう対応したい。



ふるさと祭り

問 出店数減少の対策は

坂田 美栄子 議員

答 実行委員会を中心に検討したい



問 ふるさと祭りの出店数が年々減少している。出店数増加の取り組みについて伺いたい。

答 出店数は、出店従事者の高齢化や平日開催の関係などから減少傾向となっている。



り出店実行委員会でも検討されているが、町としても積極的に支援・協力していきたい。

問 胆振東部地震による停電の影響で、お祭り最終日が中止となった。出店者への周知等、イベント開催時の緊急時の対応につ

考えるか。

イベント開催

緊急時対応

問 生活困窮

学習支援

答 停電による食品保管などの衛生上の問題があり、停電の復旧が見込めないことから、実行委員会

生活困窮

学習支援



美幌町では、訪問型学習支援や公共施設を利用しての学習支援が行われているが、現況と今後の取り組みについて伺いたい。

# 観光振興 問 宿泊施設誘致取り組み状況は

上杉  
晃央議員

## 答 関係団体と滞在型観光の推進を図りたい



**問** 美幌町は通過型観光の解消が大きな課題となっている。町内には宿泊施設が極めて少なく、観光客のほとんどが隣接する北見市や網走市のホテルに宿泊しているのが現状である。

**答** 町として、どのようにに宿泊施設誘致の取り組みをしてきたのか伺いたい。

**答** 宿泊施設の誘致については、重要な課題であると認識し

ており、第6期総合計画や美幌町観光革新戦略ビジョンにおいても、滞留型・滞在型観光推進の基本方針のもと、宿泊施設誘致を目標に掲げているが、直接的な取り組みは、未だ実行に移っていない。

滞在型観光の推進策として、キャンピングパークや空き家の民泊利用、峠の湯での新しいキャンピングスタイル「グランピング」の検討を行っている。引き続き、商工会議所等の関係団体と連携を図りながら滞在型観光の推進を図っていきたい。



～ グランピング ～

**問** 観光体験型メニューの取り組みは積極的だが、宿泊施設の誘致が弱いのでは。

**答** 様々な場面でPRしてきたが実現していない。民間業者等含めて協議したい。

### LCC就航誘致

活動状況は

**問** 低価格運賃で運航サービスを行うLCC就航誘致の取り

組みが、宿泊施設誘致に大きく影響すると考えるが、女満別空港へのLCC就航誘致活動の取り組み状況を伺いたい。



**答** LCC就航による国内外の新たな需要の創出が重要視されていることから、

女満別空港周辺自治体等で構成する女満別空港整備・利用促進協議会では、昨年より道東地域へ就航が検討されていた「ピーチ・アビエーション」への誘致活動を行ってきた。

**問** LCC就航を実現するための課題は。

**答** 残念ながら検討されていた道東地域への就航は、釧路空港が選定されたが、今後の状況によっては、道東での複数路線の開設も考えているとのことであった。

今後は、東北海道周辺一体を面としてとらえ、周遊ルートの創設や魅力ある体験プログラムの充実を図っていく必要があると考えている。



# 防災強化 問 胆振東部地震での対応評価は

稲垣 淳一 議員

## 答 効果的な発信伝達方法を検討したい



問 胆振東部地震において、防災計画ど

おりに対策が行われたのか評価を伺いたい。

答 地震発生後の町職員の登庁など初動対応については、防災計画に基づく行動がとられ、停電時電源確保用の発電機の設置についても、備蓄計画に基づき一定の対応をとることができた。一方で、災害の詳

細、電力の復旧、物流の状況など正確な情報を提供できなかった。今後は、一層の情報収集を図り、効果的な発信伝達方法について検討したい。



問 東日本大震災後、実効性のある避難支援を行うため、

災害対策基本法により、避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられたが、美幌町での作成状況は。

答 75歳以上の高齢者等を対象とし、2,247名が名簿登録されており、894名の個別支援計画書を作成している。支援を受ける側と支援をする側の生活環境は日々変化しており、計画を定期的に見直す作業を進めていきたい。

### 中心市街地活性化

進捗状況は

問 中心市街地活性化事業の進捗状況および今後の方向性について伺いたい。

答 商工会議所との協議で、施設を整備するうえで重要であ

るコンセプトの構築や必要となる機能など、再度時間をかけて精査する必要があるとの結論に至った。

町としては、ソフト事業の推進が重要と判断し、北一商店街コミュニティスペースの設置支援や商店街を担う若者を対象に先進地視察の支援などを行っている。今後も商工会議所等の関係団体と連携を図りながら中心市街地活性化の推進に取り組んでいきたい。



～ 北1商店街コミュニティスペース ～

### 店舗リフォーム支援

拡充予定は

問 既存宿泊施設リニューアルのため、店舗リフォーム補助金額の引き上げを行い、観光事業対策に拍車をかけては。

答 現行制度では大規模な改修については想定していないため、そのあり方や制度との整合性について調査研究したい。

問 空き家を民泊に活用するため、リフォーム補助の対象としてどうか。

答 商工会議所での「美幌シェアリングエコノミー検討委員会」でその可能性について調査検討を行い、さらには空家等対策協議会委員の意見をいただきながら検討していきたい。

# 災害対策 問 停電時の情報発信の検討は

吉住 博幸議員

## 答 自治会などの間接的な情報発信を検討する



**問** 地震等の災害時において、停電時の災害情報を発信する手段について伺いたい。

**答** 直接的な情報発信手法としては、広報車による広報活動や「あんしんねつとびほろ」によるメール送信があるが、広報車の放送が屋内において聞き取りにくいという指摘や携帯電話を持っていない方や「あんしんねつ

とびほろ」に登録されていない方もいることから、民生委員や自治会などを通じ、間接的な情報発信について検討を進めていきたい。

**問** 情報のデマへの対応は。

**答** 正確な情報を伝達できるよう努め、情報の信頼性について注意喚起していきたい。

### 胆振東部地震

浄水排水状況

**問** 胆振東部地震発生後の町内での浄水・排水機能の稼働状況について伺いたい。

**答** 地震に伴う全町

### 冬期の災害

暖房確保策

**問** 冬期間の災害発生時の避難所や高齢者・幼い子どもがいる家庭での暖房確保対策は。

**答** 町内19カ所の

### 災害時燃料確保

対策方法は

**問** 災害時の除雪車両や緊急車両の燃料確保は。

避難所に、灯油ストーブ76台、ジェットヒーター14台、毛布1,970枚を配置し、北見地方石油業協同組合と防災協定により燃料が提供されることとなっている。また、ポータブルストーブやカセットガスを使用したヒーターなどの電力に頼らない暖房機器を備えてもらうPRも行っていきたい。



**答** 災害等により燃料確保が難しい場合には、北見地方石油業協同組合との防災協定により、給油の協力要請を行い、緊急車両についても、災害等の緊急時における車両燃料の確保を盛り込んだ売買契約としている。様々な事態を想定しながら準備・対応を図っていきたい。

まちなか美化



大江 道男 議員

# 問 美化緑化推進が不十分では

## 答 地域の協力を得ながら後押ししていきたい



**問** 各町内会が花壇の整備で、町を花で美しくする取り組みを進めている一方、中心市街地や国道沿線の美化・緑化推進の取り組みが不十分と考えるがどうか。

**答** 中心市街地や国道沿線の道路管理者は国や道であり、植栽やプランターの設置もないことから、緑化推進の取り組みが十分ではない沿線がある。

美化・緑化推進には、地域住民や事業所の協力と理解が不可欠であるため、ボランティア活動を後押ししていきたい。



**問** 国は、地域や企業に対し、道路の美化清掃に参加するボランティア・サポート・プログラムを実施し、市町村に対しても協力を求めている。

美幌町の国道で花の植栽を実施するため、プランターの購入やボランティア団体の組織づくりを行う考えはないか。

**答** ボランティア・サポート・プログラムは、道路・歩道の清掃や美化活動が主な活動で、費用については、清掃道具やボランティア活動保険が対象でプランターの購入費用は対象外となっている。

今後は、ボランティア組織が立ち上がるよう、周知を図り、実施団体の活動が円滑に行えるよう支援していきたい。

# ドッグラン

峠の湯に整備を

**問** 「峠の湯びほろ」や施設内レストランの利用促進のため、犬も利用できる足湯を併設したドッグランを整備する考えは。

**答** 「峠の湯びほろ」については、施設の老朽化が課題となっており、施設改修を含め、その在り方について検討することとなっていることから、ドッグラン整備についても、この中で検討していきたい。



# 美幌高校支援

拡充の考えは

**問** 美幌高校を支援する「(仮)美幌高校教育振興対策協議会」設置運営状況は。

**答** 現在、協議会設置には至っていないが、「公立学校配置計画」を踏まえ、早急に協議会を立ち上げ、平成34年度以降の間口対策等について協議していきたい。

**問** 津別町や訓子府町にならった美幌高校への支援策拡充の考えは。

**答** 現在、農業科間口対策補助や寄宿舎(報徳寮)の維持運営の支援等を行っており、引き続き、農業科の存続と間口確保について、道教育委員会と協議を行っていきたい。

# 停電対応 長時間停電の対応対策は

岡本 美代子 議員

**答** 正確な情報発信と備蓄強化をPRしたい



**問** 胆振東部地震による長時間停電の経験を踏まえた新たな対策について伺いたい。

**答** 食料品、ガソリンの販売情報などについて、正確な情報をリアルタイムで発信する必要があると考えている。

また、物流の停滞により多くの商品が品薄となったことから、保存食や乾電池などを備えてもらう

ことや冬期間での暖房対策についても呼びかけていきたい。

**問** 電力の供給のあり方について、広域的な取り組みが必要と考えるがどうか。

**答** 発電所の立地を分散し、一部の発電所が被災しても広域停電を回避するための対策が必要と考えている。

また、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの有効活用の検討も求められる。町としては、北海道における電力の安定供給体制の強化を要請していきたい。

## イベント用備品

更新予定は

**問** イベント用テーブル・椅子の更新計画の進捗状況は。

**答** 昨年、行事用備品整備計画を策定し、今年度から順次、更新する予定で、熱に強いテーブルを20台購入する。早期に整備が図られるよう取り組んでいきたい。

## 集会室活動

テーブル・椅子整備

**問** 地域集会室に、高齢者等が活動しやすい環境を整えるため、テーブルや椅子等の備品を整備する

考えは。

**答** 各自治会においては、厳しい財政状況のなか、地域活動に努力していることは理解している。今後、各自治会の

テーブル・椅子の整備状況と必要数の意向調査を行い、活動環境整備に向け検討していきたい。



## 重いランドセル

健康への影響

**問** 脱ゆとり教育による学習内容の増加や教科書の大判化などで、小中学生の通学かばんが重くなり、

健康に影響を与えない状況である。町内各学校での実態はどのようになっているのか伺いたい。

**答** 保護者アンケートでの意見を踏まえ、学校に置いていっていても良い教材を示している学校などの対応状況を確認している。

文部科学省通知による工夫例や道教育委員会の実態調査などを参考として、校長会、保護者などと連携を図り、児童生徒の携行品の重さや量の検討をしたい。



## 平成29年度各会計決算認定は決算審査特別委員会を設置し付託

平成29年度一般会計、特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・個別排水処理）及び水道・病院事業会計の決算認定について、詳しく検討するため特別委員会を設置して付託。

次のとおり委員を選任し、閉会中の継続審査を行うこととしました。

審査結果については、次の議会において報告し、審議する予定です。

一般会計等決算審査特別委員会			
委員長	岡本美代子	副委員長	戸澤義典
委員	大江道男	委員	橋本博之
委員	早瀬仁志	委員	高橋秀明

企業会計決算審査特別委員会			
委員長	中嶋すみ江	副委員長	稲垣淳一
委員	坂田美栄子	委員	吉住博幸
委員	新鞍峯雄	委員	上杉晃央



～ 委員会報告に向けた書類審査の様子 ～

# 8月臨時会

西日本豪雨災害支援の行政報告、屋内多目的運動場補正予算を審議

## あらまし

会期を1日間と決定し、町長から「西日本豪雨災害に係る被災地支援について」行政報告を受けました。

その後、議会運営委員会から「議会のICT化・情報通信技術の活用による議会運営効率化等について」調査結果報告を行い、専決処分（西日本豪雨災害支援補正予算）の承認、条例改正（集会室条例、スポーツ施設条例）、補正予算（一般会計、国民健康保険）を審議し閉会しました。

## 補正予算

全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

◇ 役場庁舎地中熱熱応答試験 422万円

役場新庁舎建設において、自然エネルギー・地中熱を利用するための試験業務委託の費用。

◇ 屋内多目的運動場建設工事実施設計 3,231万円

平成32年完成予定の屋内多目的運動場建設に係る実施設計委託の費用。

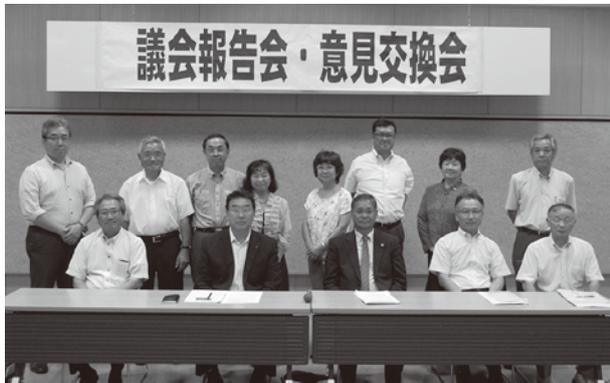


～ 屋内多目的運動場（案）～

# 議会報告会・意見交換会 開催のご案内

＜町民皆さんの声をお聞かせください！＞

- ◇開催日 平成30年11月6日（火）
- ◇時間 午後1時30分／午後6時
- ◇場所 町民会館（小ホール）
- ◇内容 定例会・臨時会審議内容の報告  
意見交換～災害に強いまちづくり  
他



## ～ 議員の資質向上を目指して～

町議会議員政策能力セミナーが8月28日、美幌町しやきつとプラザで開催され、美幌町全議員14名の他、津別町・大空町議会議員等46名が出席しました。

東京大学大学院の金井利之教授から『人口減少時代における地方創生』と題した講演を受け、地方創生の展望や基礎自治体の行方、移入民と多文化共生などを学ぶ有意義な研修会となりました。

人口減少時代における「地方創生」を学ぶ



\*\*\*\*\*

### 議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

**12月定例会は12月4日（火）頃から開かれる予定です**

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

### 議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

●美幌町ホームページ

(<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp>) から「美幌町議会」をクリックしてください。

### あとがき

▼9月6日未明に発生しました北海道胆振東部地震におきまして、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

▼あらためて自然災害の恐ろしさ、その脅威を多くの方が感じたことと思います。

▼日頃の各種災害に対するの備えをしっかりと見直したいものです。

▼快挙です。7月20日に美幌消防団が参加しました「北海道消防操法訓練大会」において、見事優勝しました。

▼安全安心なまちづくりに日夜努力されている姿に感謝し、敬意の気持ちでいっぱいです。（淳一）

議会運営委員会

- 委員長 橋本 博之
- 副委員長 戸澤 義典
- 委員 吉住 博幸
- 委員 上杉 晃央
- 委員 稲垣 淳一